



'24.9改訂

2段式サイクルラック 1型

取付説明書

四国化成の製品をお買いあげいただきありがとうございます。
末永くご愛用いただくために、この「取付説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

施工上の注意事項

1. 自転車の収納以外の目的にはご使用にならないでください。
2. ラック設置幅は推奨幅を守って施工してください。
3. ラックの固定はアンカー止めとなっておりますので土間はコンクリート仕上げにしてください。
4. 製品の表面に付着したコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
5. 施工完了後に取り付け作業をしたネジ類の締め具合をもう一度確かめてください。
6. この取付説明書は、工事完了後お客様にお渡しください。

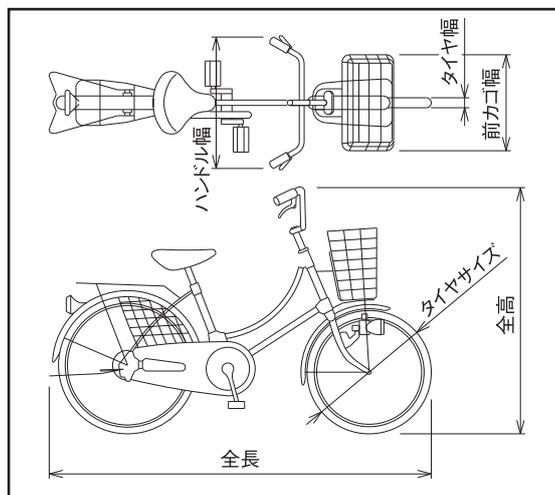
施工の前に

それぞれお買いあげの型式に従って梱包数と部品をお確かめください。

ご利用可能自転車について

スポーツ車、シティ車、実用車などの一般用自転車向けです
ので子供用(幼児用)自転車は収納しないでください。

全長 (mm)	ハンドル幅 (mm)	タイヤ幅 (mm)	タイヤサイズ (インチ)
1550~1800	560以下	55以下	22~27
前カゴ幅 (mm)	車重 (kg)	全高 (mm)	
400以下	上段25以下 下段30以下	1100以下	



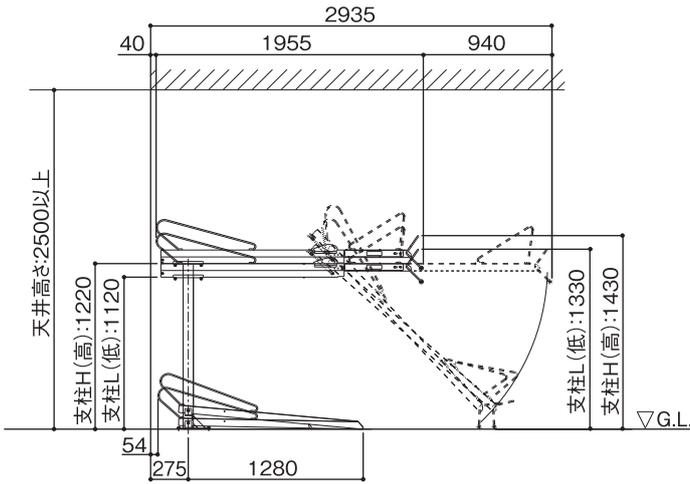
梱包部品一覧表

梱包	部品名称	形状	数量
DCL1-1	支柱 H (高)		1
DCL1-4	下段レール		1

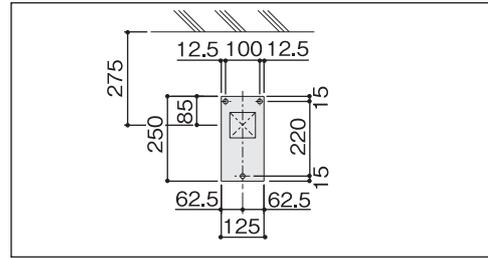
梱包	部品名称	形状	数量
DCL1-3	上段レール		1
	六角ボルト M10×25 ^L		4
	六角ナット M10		4
	平座金 M10		8
	バネ座金 M10		4
	六角ボルト M8×20 ^L		2
	六角ナット M8		1
	平座金 M8		3
	バネ座金 M8		2
	あと施工アンカー(おねじタイプ) M12×70 ^L		3
	取付・取扱説明書		各1

1

設置場所 (設置寸法は目安ですので、ご使用に応じて設定してください。)

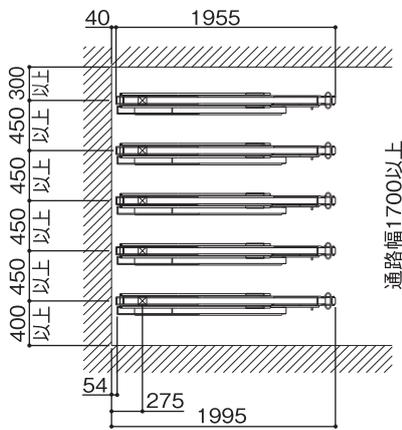


支柱ベースプレート部 (90°設置の場合)

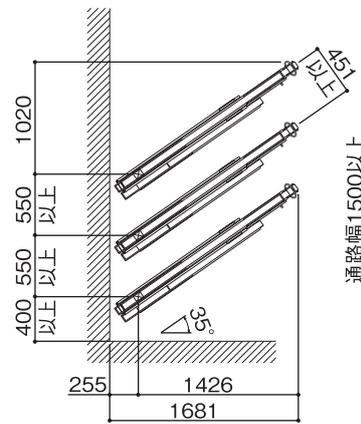


※上図は自転車のハンドル高(ベル含む)H:1100 (26インチの場合)の設置例を示します。

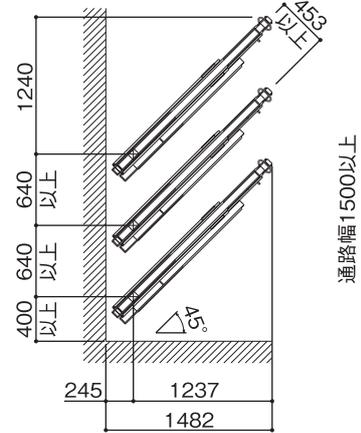
●90°設置



●斜め35°設置



●斜め45°設置



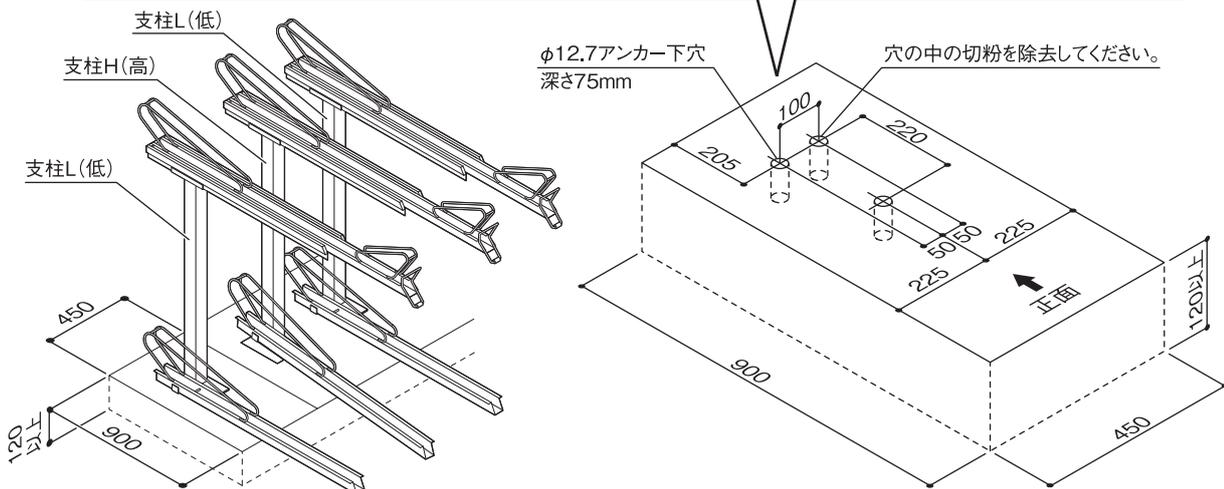
2

基礎工事

1. コンクリートの基礎にコンクリートドリルでアンカー用の下穴をあけてください。ドリルの直径は12.7mmのものを使用し、深さ75mmまであけてください。

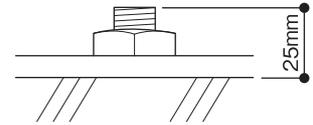
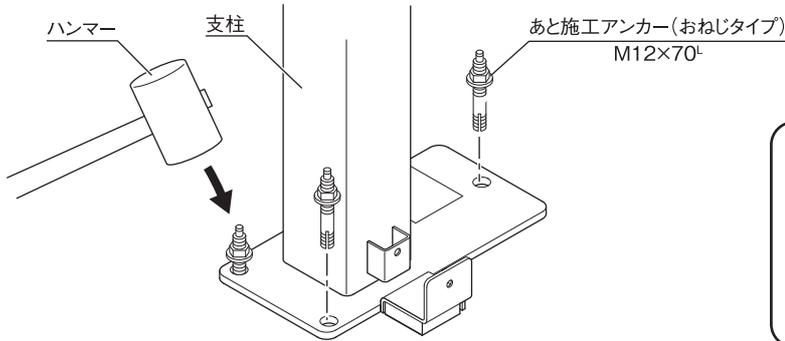
注意

- コンクリート以外の場所(アスファルト等)へのアンカー打ちは絶対にさけてください。
- コンクリートが生乾きの状態でのアンカー打ちは、十分な強度がないので絶対にさけてください。

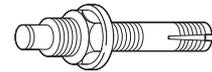


3 支柱の据えつけ (支柱は、端からL・H・L・H~の順で施工してください。)

- 2であけたアンカー用下穴に合わせて支柱を立ててください。
 付属のアンカーボルト(M12×70^L)にボルトの先が見えるまでナットをねじ込み、支柱の穴を通してコンクリートの穴に差し込んでください。
 アンカーを3本とも差し込んだ後、ハンマーでアンカーの中心のピンを打ち込んでください。



●アンカーボルト規格



あと施工アンカー(おねじタイプ) M12×70^L
 数量:3本/台

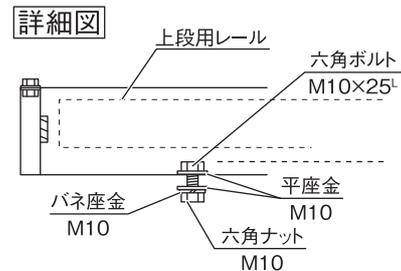
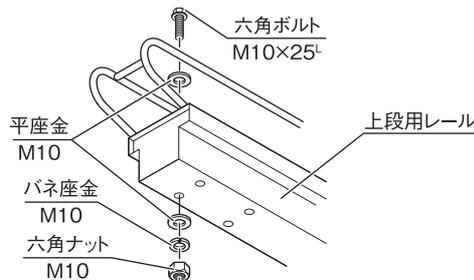
- アンカー用ナット(M12)を順番に締めつけて支柱を固定してください。
 アンカーナットを締めつけた後で、支柱が垂直に立つように調節してください。

注意

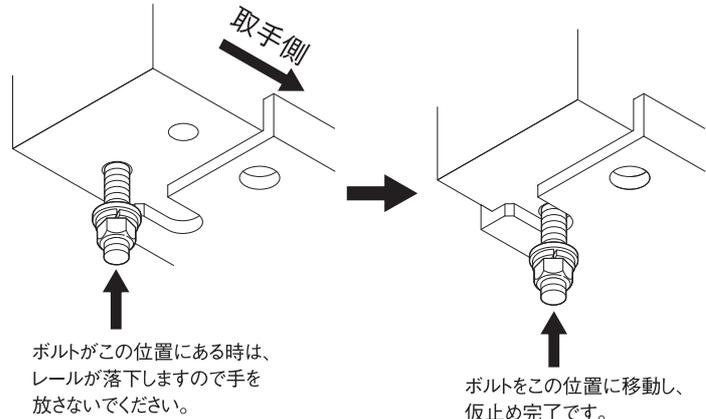
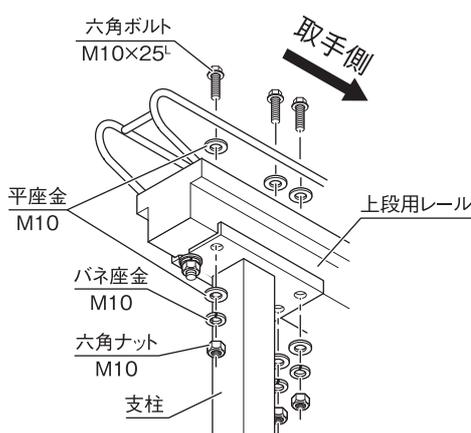
- 支柱の垂直が出ていないと可動レールが正常に機能しない場合があります。
- アンカーボルトが抜けてきてしまうような場合(ナットが締まらない)はそのアンカーボルトを引き抜き、基礎工事をやり直すか、長めのアンカーを使用する等の方法で基礎に支柱をしっかりと固定してください。
- ※そのままの状態でご使用になると、アンカーが抜け、転倒等の重大な事故につながる危険性があります。

4 上段レールの取り付け

- 上段レールを支柱に取り付ける前に、上段レールへ六角ボルト(M10×25^L)を1本差し込み、ナットをねじ込んでください。



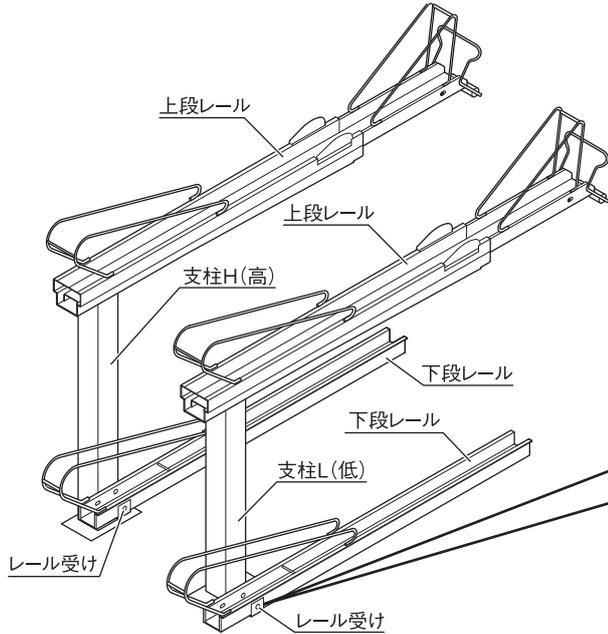
- 上段レールにねじ込んだ六角ボルトを、支柱のプレート穴に落とし込んだ後、上段レールを取手側に引き、支柱に仮止めてから六角ボルト(M10×25^L)4本を締めつけてください。



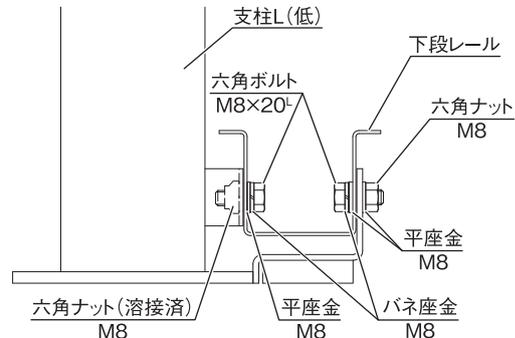
- 最後に各部分のボルト、ナットの緩みがないかどうかを確認してください。また、周囲の安全を確認の上、可動レールの上げ下げを2~3回行って動きを確認してからご使用ください。

5 下段レールの取り付け

1. 下段レールを六角ボルト(M8×20^L)で支柱のレール受けに取りつけてください。



■ 取付詳細図



上図は支柱L(低)への取り付けを示します。
支柱H(高)への取り付けも同様です。

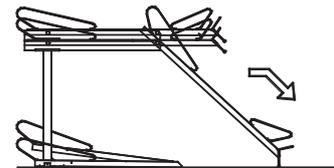
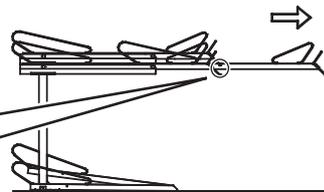
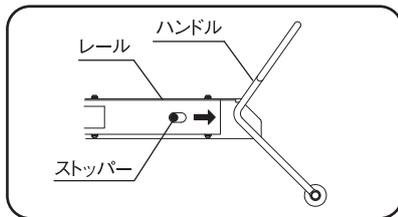
2. 各部分のボルト、ナットの緩みがないかどうかを確認してください。

6 初回動作確認

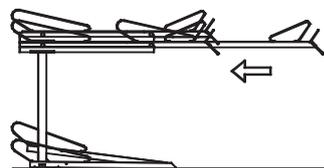
注意

初回動作確認時はレールをおろす際、かたい場合がございますが、レールを最後まで引き出し、力を加えて下におろすと動作します。

1. 上段レールのストッパーを矢印の方向に引き、ロックを解除します。
2. レールのハンドルを持ち、最後までゆっくりと引き出します。
3. レールを床面までおろします。



4. レールのハンドルを持ち、レールを上段へ押し上げます。
5. そのまま停止位置まで、レールを奥へ押し入れてください。
※奥まで入るとストッパーが作動します。



お客様へ

1. 施工者より渡されました取付・取扱説明書は大切に保管してください。
2. サイクルラックにぶら下がったり、乗ったり、むやみにゆすったりしないでください。

●改良のため予告なしに製品の一部を変更することがありますのでご了承ください。

四国化成建材株式会社

'24.9改訂

No.240930-001S